

# Q. 自衛隊の「隊内生活体験」って何ですか??

A. 隊内生活体験では、隊員と同じような日課で起居宿泊する生活を体験し、自衛隊や隊員の行動の一部を体験していただくものです。

## 生活体験のスケジュールの一例

06:00	起床・点呼
06:20	朝食・掃除
07:45	間稽古
08:00	朝礼
08:15	基本教練体験
09:30	装備品見学
10:00	野外衛生体験
11:30	昼食・休憩
12:30	ロープワーク体験
14:30	体力検定体験
17:00	終礼
17:20	夕食・休憩
18:30	ベッドメイク
20:00	入浴・休憩
22:30	掃除・点呼
23:00	就寝



基本教練体験

## Q. どうして生活体験をするの？

A. 生活体験を通じて自衛隊の実際の姿を広く知っていただき、理解を深めてもらうための広報活動のひとつ。



自衛隊では広報活動の一環として「生活体験」を行っている。三軒屋駐屯地でも毎年4〜5月に複数回受け入れをしており今年も企業等の新入社員など、50名以上が生活体験を行った。

**体力検定体験**  
隊員が実際に行っている検定の一部(腕立て・腹筋・3km走)を体験し、体力向上と団結を図る。



野外衛生体験

**野外衛生体験**  
AEDや担架を使った救急法を体験。練習用の人形を使って心臓マッサージも行う。

**基本教練体験**  
気を付けに始まり、敬礼や方向変換・歩き方・整列の仕方……など、自衛隊の団体行動における基本的な動作を体験する。

ここで、生活体験の課目の一例を紹介する。この他にも実施時期や天候、担当する教官・助教などによっては様々な課目が計画されることもある。

参加者は生活体験を通して「時間の有効な使い方を学べた。」「団結することの大切さがわかった。」「いい意味で自衛隊のイメージが変わった。」と口にしていった。



ベッドメイク

**ベッドメイク**  
自衛隊流のシワひとつないベッドメイクを、二人一組でパダイになり行う。



体力検定体験



第55号

発行所  
三軒屋駐屯地協力会  
三軒屋駐屯地OB会

# OB会定期総会・懇親会

三軒屋駐屯地OB会(会長:長川良成氏)は4月13日、ピュアリティまきびにおいて、令和7年度定期総会を実施した。



懇親会には司令をはじめ各部隊長等も参加し、話も弾み笑いの絶えないひと時となった。

長川会長は「来年も同時期に開催の予定なので会員一同にはぜひ予定を空けて待つていてほしい。」と締めくくった。



## 危険業務従事者 叙勲受賞者

瑞宝双光章

三軒屋弾薬支処OB

松田 真司 氏

(令和7年4月29日付)

おめでとうございます。

# 協力会定期総会・懇親会

三軒屋駐屯地協力会は6月1日、アークホテル岡山において令和7年度定期総会を開催した。

今年度の総会には30名以上の会員が参加した。

役員改選において長峰会長が顧問に、新会長に会計理事の杉本氏が選任された。

総会終了後は駐屯地司令の石嶋2佐による防衛講話「安全保障環境と防衛施策」が行われた。その後の懇親会では司令をはじめ、各部隊長等を交え相互に親睦を深め、終始和やかに行われた。



また懇親会に先立ち、関西補給処長(右)より前会長長峰真氏(左)へ感謝状贈呈が行われた。



## 新会長よりあいさつ



新会長  
杉本 滋 氏

この度の総会で長峰前会長の後を引き継ぐようご指名を受けました。

長峰前会長には、長年この会の運営に、多大なるご尽力をいただいたことに対して非常に感謝しております。あり

がとうございます。

あまりに多岐に渡りリーダーシップをとってこられた後、私のような若輩者が何ができるのか危惧しているところですが、皆様にお支えいただき役目を果たしてまいりますのでよろしく願います。

さて、世界情勢を見ますと不穏な動きが散見されます。それだけに、自衛隊の役割がより一層重要な局面になりつつあります。

微力ながら、会員とともにお支えできますよう頑張っておりますのでよろしく願います。



## 新着任部隊長等の紹介

令和7年3月17日付で着任された部隊長等を紹介します。

第305施設隊長

2等陸佐 福田 浩之



【出身地】 島根県  
【趣味】 旅行



＜施設隊＞ 1月 訓練はじめ  
(ロープを使い、車両を人力で移動)



＜施設隊＞ 2月  
能力構築支援 (カンボジア)



＜直支隊＞ 3月  
格闘検定



3月  
ライフプランセミナー

フォトニュース



＜支処＞ 4月  
隊内生活体験 支援



＜直支隊＞ 4月  
上級施設機械整備検定



＜基通隊＞ 4月  
大隊長視察



＜施設隊＞ 5月  
ソイルアーマー  
(折畳式箱型鋼製土のう) 設置訓練

# 三軒屋駐屯地年表

70年を振り返る

三軒屋駐屯地創立70周年記念行事を目前に、陸軍から自衛隊創隊、現在に至るまでの駐屯地の歴史を年表で振り返る。

明治40年11月	陸軍第17師団創立
大正14年5月	17師団が廃止 歩兵第10聯隊等が駐屯
昭和14年2月	大阪陸軍兵器支廠枚方出張所が爆発事故により壊滅し、各支廠の火工場の疎開が指示される。
昭和14年4月	岡山陸軍兵器補給廠配置
昭和15年11月	岡山陸軍兵器補給廠三軒屋部隊配置
昭和20年8月	太平洋戦争終戦 米軍が駐留し、続いて英・印軍が駐留
昭和24年4月	牧石中学校開校
昭和24年11月	岡山県種畜場設立(乳牛・豚・鶏等)
昭和28年2月	牧石中学校廃校
	陸上自衛隊創隊
昭和30年4月	水島駐屯地三軒屋分屯地として発足 第303弾薬中隊移駐
昭和31年3月	関西地区補給処三軒屋弾薬支処編成完結
昭和32年9月	岡山県種畜場移転(久米郡朝日町へ)
昭和37年1月	水島駐屯地廃止に伴い駐屯地へ昇格
平成2年3月	第324地区施設隊編成完結
平成11年3月	第8施設群第350施設中隊改編
平成18年3月	第7施設群第349施設中隊移駐
	第305施設隊移駐
	第104施設直接支援大隊 第2直接支援隊移駐

## 野球への情熱

支処衛生科

2等陸曹 榊原 則教

47歳を迎える今年も、現役バリバリでプレイを続ける私、榊原2曹が野球への思いを語らせていただきますと思います。

まずもって、この記事を書いている6月3日、ミスタープロ野球こと長嶋茂雄読売ジャイアンツ終身名誉監督が逝去されました。一野球人として、野球の神様と慕ってきた故人を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。小学4年生のころから、祖母に影響され、巨人ファン一筋37年……。きわめて寂しい限りですが、いわゆる一つの時代が終わったのだなと感じざるを得ません。

将来の夢は、プロ野球選手でした。その思いは高校野球を通じて、脆くも破れてしまいました。学んだことは全て、自衛官となった現在に至るまで血となり肉となって活かされています。野球はチームプレイです。柔道やテニスのように、単純に個人の能力が勝敗を決するわけではありません。個々の能力が低くても勝てることがあります。



チームワークが勝敗のカギを握ります。出場選手と控え選手の任務、マネーの任務、マネー

ジャーやボールボーイといったいわゆる裏方の実務、監督やコーチの指導・責任、応援団の情熱等々、ゲームに関わるすべてが野球であり、そして勝敗の要素・要因となります。それが団体競技の醍醐味ですよ！

自衛隊もまた然りです。隊員の皆様は地位・任務・役割を置き換え考えていただけたら、ご賛同頂けると思いますが、自身、ここまで自衛隊生活が続けてこられたのも、野球を続けられた要因と同じく「One for all, all for one!」であることができたからだと思います。

また、自衛隊に入隊したことが転機となり、新たな夢を見い出せた気がしています。生涯現役選手に拘ってききましたが、次ステージでは役割を変え、監督・指導者としてグラウンドに立ちたいと思うようになりまし。自分のチームを作りた、指導した選手が躍動してほしい！いつになるかわかりませんが、胴上げされてみたいですね！平成12年10月28日 東京ドーム、長嶋監督のように……。

## 行事予定

●8月5日(火)

ふれあい納涼盆踊り

18:00 ~ 20:30

(一般開放 17:30 ~)

・屋台・仕掛け花火  
・お化け屋敷 など



●今年11月開催！

●11月22日(土)

駐屯地創立70周年

記念行事

各種行事の統報・詳細は三軒屋駐屯地ホームページにて、逐次更新予定！

三軒屋駐屯地ホームページ



※駐車場が限定されていますので、公共交通機関をご利用ください。